

第2学年 美術科学習指導案

学級 2年5組 (男子16名 女子18名 計34名)

指導者 教諭 阿部 龍一

1 題材名 ポスター「届け、私のメッセージ」

2 題材について

(1) 教材観

本題材は、学習指導要領の第2学年及び第3学年の目標の(2)「対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を高める。」を主なねらいとし、A表現(2)の指導事項イ「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること」及びA表現(3)ア「材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること」とイ「材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること」に基づいて設定した題材である。

ポスター制作では、扱うテーマと自分との関わりがどのようなものかが重要だと考える。本題材のポスター「届け、私のメッセージ」では自分自身をポスターに入れることを条件としている。それは生徒自身が関心のある事柄をテーマにすることで、自分と社会との関わりや、そのことについてより深く考えさせ、自分自身のメッセージとして他者に伝わるように造形言語を使って表現させたいからである。

中学2年生は、自分を描くことに抵抗感を示すが、あえて自分を描かせることにより、自分と社会から目をそらすことなく、しっかりと現実を見つめさせる機会にしたいと考えた。

1年生で学習した「配色の基本」、「レタリング」、「自然物からの構成」を生かし、2年生では自分の思いを基にして、ポスターのテーマに迫る画面構成、思いを伝える主調色を取り入れた配色、自分を立体的に表すためのグラデーションなどを考えさせ、応用・発展的に表現力を高めていきたいと考えた。

また、伝えたい内容を他の人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、構想を練り、他の生徒からの感想や評価を取り入れるなど、フィードバックをしながら制作を進めることも必要である。

このようなことから、本題材は自分の思いが他者にどのように伝わっているかを考え、制作に反映させていくことができ、また、視覚伝達デザインの造形的な能力を伸ばすことができる題材であると考えられる。

(2) 生徒観

本校の生徒は、校内展示している先輩の作品を普段から目にしており、2年生の美術の授業では自分をもとにしたポスターを制作するという心構えはできていると思われる。構想作文の段階では、関心のあるテーマがある程度絞られており、どんなポスターを描きたいのか、見通しを持って取り組んでいる。

また、1年生で「自然物からの構成」で単純化や強調、分割や再構成、グラデーション、配色の効果を学習しており、「スケッチ」「クロッキー」で描画表現を学習している。それを基礎・基本として自分のテーマにあった表現を選択、応用して自分の思いが伝わる美しいポスターになるよう取り組みませたい。

次の作文はある生徒のポスターの構想作文である。

「最近、挨拶をしても返してくれない人が多くなっているように思います。そこで、挨拶をいつでもどこでもできるように呼び掛けたいので主題を『挨拶』としました。何を伝えたいかは、挨拶をすること、挨拶を返すことです。全校の生徒に伝えたいです。それはお互いに挨拶を交わし合い、気持ちのよい学校生活を送りたいと思うからです。あいさつはお互いの人格を尊重し、円滑に集団生活を送るうえでの最低限のマナーだと思います。作品が完成したら校舎の廊下や掲示板に貼る等して見てもらいたいです。」

生徒が実際に生活している学校生活の中で見つけたテーマを、ポスターという視覚伝達デザインの形で表現させることで、相手によりよく伝わるための表現方法を考えさせたい。

(3) 指導観

発想の段階では、目的と伝えたい主題を明確にするために、何(テーマ)のポスターか、「何を」、「だれに」、「どうしてほしい」、「どこに」(掲示)するののかという視点に基づいて作文を書く活動を行う。アイデアスケッチの段階では、一つのテーマを、どう表現したら最もよいか、様々に工夫して描かせ、その中から、最も効果的なものを選ばせる。ポスターに入れるコピーの段階では、簡潔で、しかも印象的で心に残る言葉になるキャッチコピーになるよう考えさせる。コピーで全てを語ろうとして、イラストとの相互効果を考えないことがあるので、双方の関わりで自分のメッセージがよりよく伝わるような組み合わせを考えさせる。イラストの段階では、印象深く伝わるよう視覚的な衝撃を与える「ビジュアルショック」や2つ以上の視点を組み合わせた「ダブルイメージ」などを取り入れるよう工夫させる。その際、自分の表現は写実的な表現か、単純化したデザイン的な表現か考えさせる。

制作途中でも「多くの他者(全校生徒)に伝わるか」という視点で、作品を見つめさせたり他者と批評し合ったりすることを通して、他者に伝わることを目指した表現となるよう追求させていきたい。その際、意見交流しやすい少人数のグループ活動を生かしていきたい。

また、作品は校内展示したり、関係するポスターコンクールに出品したりするなどして、ポスター本来の果たす役割についても実践していきたい。特に校内展示することで、自分たちの生活を見直すきっかけにもなり、校内生活の改善が期待できる。また、日常生活の中で美術作品に触れることで美的感性を養い、関心を高めていきたい。

3 題材の目標

伝達の表現に関心をもち、伝えたいメッセージや思いを基にポスターの構想を練り、表現方法を工夫し、創造的に表現するとともに、伝達のデザインとしての調和のとれた美しさなどを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。

- (1) 伝えたいメッセージを明確にする中で、社会的事象や生徒自身を見つめることができる。
- (2) ポスターが果たす社会的役割や機能が理解できる。
- (3) 発想を構想に結びつけ、目的に応じた表現方法やレイアウトを工夫できる。
- (4) 表現方法や配色の工夫を通して、印象的で美しいポスターを制作できる。

4 指導計画(全13時間)

- ・ポスターについて(説明と鑑賞)、テーマの設定・・・1時間
- ・アイデアスケッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- ・画面構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- ・配色計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- ・下描き・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間
- ・彩色・・・・・・・・・・・・・・・・・・6時間(本時4時間目)
- ・制作のまとめと鑑賞・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

5 本時の目標と評価規準

(1) 本時の目標

- ・訴えたい内容が見る者により良く伝わるよう、配色や彩色の仕方による効果を考えて表現する。(創造的な技能)

(2) 評価規準B

感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。(創造的な技能)

6 本時における研究の重点について

- (1) 課題設定の工夫については、メッセージや思いが配色や彩色に十分生かされているか考えさせる。

- (2) 関わり合いの工夫については、4人程度の小グループで参考作品の作者の表現意図がどのように表現されているかを互いに気づいたことを発表し合い、よりよい表現を追求させる。
- (3) まとめの工夫については、メッセージや思いを伝える配色と彩色ができたか振り返り、次の制作につなげさせる。

7 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 全員の作品を鑑賞し、表現のよさを感じ取る 2 学習課題を把握する	<ul style="list-style-type: none"> ・学級全員の作品を黒板に掲示しておく。 ・道具の準備をしてチャイム席を守らせる。 ・お互いの感じ方を尊重させ、自信を持って鑑賞させる。
	思いを伝える配色と彩色の仕方を考えて彩色をしよう	
展開 40分	3 お互いに生徒作品を鑑賞し合い、配色や彩色のよい点と課題を見つけ批評し合う。 「伝えたいことが効果的に伝わるような配色や彩色の仕方となっているか」 4 制作途中の画用紙に彩色する。 ① アクリルガッシュを使用する。 ② 彩色方法はデザインの、絵画的のいずれか。 ③ 効果的な配色と彩色を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の態度や発表の仕方について確認する。 <p>【話し合いの様子・発言内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の思いを想像させる。 ・そのための効果的な配色や彩色に気づかせる。 ・作品から受ける印象は、人によって違ってよいことを伝え、自信を持って発表できるようにさせる。 ・自分とは違う感じ取り方から、新たな気づきや表現の深まりを促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視で個別指導 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な彩色をさせる。 ・よい点を評価し、意欲を持たせる。 <p>評価：創造的な技能</p>
終末 5分	5 本時の活動を振り返る。 伝わるような配色や彩色の仕方を追求できたか。具体的にどうしたのか。 6 次時の活動への見通しを持つ。 次の時間はどうしたいのか。その具体的な見通しは。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を発表しあい、成果と課題を確認する。 <p>【ワークシートの記述・発言内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の制作に向けて、目標を持たせる。